

最先端研究基盤事業に係る事業計画

	事業名	事業実施機関	事業概要	実施 期間	補助金額 上段: 初年度所要額 下段: (事業総額)
1	海底下実環境ラボの整備による地球科学—生命科学融合拠点の強化(「ちきゅう」を活用)	海洋研究開発機構	○高知コア研究所における, 海底下の実環境を保持してコア試料を研究する環境の構築や, 地球深部探査船「ちきゅう」のコア採取機能の高度化等を行い, 海底下深部環境における炭素・エネルギー循環システムの解明を図る。	2年	35億円 (48億円)
2	世界最先端研究用原子炉群の高度利用による国際的研究開発拠点の整備—原子力研究開発テクノロジーパークの創成—	日本原子力研究開発機構	○最先端照射設備を整備し, 軽水炉の長寿命化等に係る安全研究や原子力人材育成を行うとともに, アジア諸国の原子力ニーズに対応した研究開発協力を実施する。	3年	8億円 (29億円)
3	コヒーレント光科学研究基盤の整備	東京大学, 理化学研究所	○コヒーレント光(波長と位相がそろった光)を, 幅広い波長領域において極短パルスで発生させる光源装置及びそれを用いた先端計測装置を開発し, 太陽光エネルギー変換機構の解明等を進める光科学技術基盤を整備する。	3年	20億円 (40億円)
4	次世代パルス最強磁場発生装置の整備	東京大学	○1000テスラのパルス超強磁場を開発し, 臨界磁場・臨界電流破壊実験を実施し, 高性能電池材料や超伝導材料などにつながる新物質・材料の研究開発を加速する。	2年	8億円 (15億円)
5	生命動態システム科学研究の推進	大阪大学, 理化学研究所	○複雑な生命システムの制御原理を解明する生命動態システム科学研究の推進に必要な, 最先端計測とシミュレーションを行う研究基盤を整備する。	3年	27億円 (37億円)
6	新興・再興感染症の克服に向けた研究環境整備	北海道大学, 東京大学, 大阪大学, 長崎大学	○若手研究者をリーダーとする連携体制を構築し, 病原体の生態や伝播経路の解明, 未知の病原体の探索, 感染症の発生と流行を予測する基盤技術の開発等により, 感染症対策技術の開発を加速する。	3年	16億円 (21億円)

	事業名	事業実施機関	事業概要	実施 期間	補助金額 上段:初年度所要額 下段:(事業総額)
7	心の先端研究のための連携 拠点 (WISH)構築	京都大学(心理学・ 認知科学等を実施す る大学, 研究機関と 連携)	○ヒト, チンパンジー等の比較認知実験等を行うネットワー ク研究拠点を整備し, 心理学, 認知科学, 脳科学や社会科 学の分野を超えた学際研究を行い, 他者との相互作用によ る心のはたらきを解明するための先端研究を推進する。	3年	5億円 (14億円)
8	ゲノム機能医学研究環境整 備	熊本大学	○遺伝子改変マウスの臓器別の詳細な表現型を解析する 研究環境を整備し, 学内外の研究者が利用できる形で, 遺 伝子改変マウスの開発・保存・供給・表現型解析を一貫し て行う体制を構築し, 疾患の病因・病態解明等を促進する。	3年	1億円 (6億円)
9	化合物ライブラリーを活用し た創薬等最先端研究・教育 基盤の整備	創薬研究を行う大学 (拠点の適切な選定 方法を今後検討し, 拠点の選定終了まで 交付は保留)	○創薬シーズの探索の加速化を図るため, 多検体スクリー ニング設備を, 研究ポテンシャルが高く, 外部の研究者の 供用に供することが可能な拠点に導入することにより, 創 薬等最先端研究・教育基盤を構築する。 ※創薬支援基盤の確立を目指し, 国が定める戦略的な運 営方針に従い実施する。	1年	5億円 (次年度以降は初年 度の実績を踏まえ 継続の可否を判断)
10	大強度陽子加速器施設(J- PARC)を中心とした中性子 科学の研究環境整備	日本原子力研究開 発機構	○物質の内部構造や機能の詳細解析を可能にするため, J- PARCの中性子ビームの増強(現行の10倍)を図り, 物 質・材料科学や生命科学の進展を支える中性子科学の研 究基盤の充実を図る。	3年	12億円 (48億円)
11	低炭素社会実現に向けた植 物研究の推進のための基盤 整備	【大規模拠点】 奈良先端科学技術 大学院大学, 理化学 研究所 【地域拠点】 東北大学, 筑波大 学, 東京大学, 名古 屋大学, 京都大学, 岡山大学, 基礎生物 学研究所	○植物機能の総合解析基盤を集中整備するとともに, オール ジャパンの植物研究基盤体制を強化することにより, バ イオマスの生産性の向上, CO2の固定量の増大, 植物利 用による新素材や有用化合物の生産等を目指す。	1年	27億円 (27億円)

	事業名	事業実施機関	事業概要	実施 期間	補助金額 上段:初年度所要額 下段:(事業総額)
12	e-サイエンス実現のための システム統合・連携ソフトウェ アの高度利用促進	筑波大学, 東京大 学, 京都大学	○e-サイエンス(インターネットを介して, 実験, 観測結果等 の巨大データや計算資源を活用する科学の方法論)実現 のため, 大規模ストレージ, ネットワーク環境等の実証基盤 の構築を行い, 様々なコンピューターをシームレスに利用で きる大規模ネットワーク研究環境を構築する。	1年	30億円 (次年度以降は初年 度の実績を踏まえ 継続の可否を判断)
13	大型低温重力波望遠鏡の整備	東京大学	○神岡地区に世界最高感度の一辺3kmのL字型レーザー 干渉計を整備し, アインシュタインが预言した「重力波」を世 界に先駆けて検出する。	3年	22億円 (98億円)
14	素粒子分野における世界最 先端の研究基盤の整備 —KEKBの高度化による国際 研究拠点の構築—	高エネルギー加速器 研究機構	○KEKB加速器を高度化し, 現在の物理の「標準理論」では 説明が困難な宇宙の初期にしか起きなかった極めて希な 現象を再現することにより, 「新たな物理法則」の存在を明 確にする。	3年	64億円 (100億円)

	: グリーンイノベーション
	: ライフイノベーション
	: グリーン&ライフイノベーション
	: 基礎科学研究

※具体的な補助金額については, 事業実施機関に詳細な
事業計画の提出を求め, 内容を精査した上で確定

合計	280億円 (564億円)
----	------------------

グリーンイノベーション	4件
ライフイノベーション	5件
グリーン&ライフイノベーション	3件
基礎科学研究	2件
合計	14件